



# くすのき



学校のシンボル  
くすの木

令和6年 4月8日

さいたま市立土合小学校

新年度を迎えて

校長 白倉 秀樹

校庭の木々の蕾がほころび始め、春の訪れを感じさせる季節となりました。春風が心地よい時季となり、新年度がスタートいたします。このようなすばらしい時期に、子どもたちの笑顔に会えるということは、この上ない喜びです。

新入生104名を迎え、729名の児童、通常学級23学級、特別支援学級3学級、57名の教職員で132年目の土合小学校がスタートします。児童の皆さん、保護者の皆様、御入学・御進級、本当におめでとうございます。

今年度から、前任の菊地勇校長の後任として着任いたしました白倉秀樹（しらくら ひでき）と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。校庭にあるくすのきの雄大な姿が、落ち着いた雰囲気の地域性の象徴とも見られます。校長室に飾られた歴代の校長先生方の写真やPTA会長の皆様の写真から、これまで培われた土合小学校の伝統の重さを強く感じます。私自身この伝統とすばらしさを未来につなげていけるよう精一杯努めてまいります。

さて、令和6年度土合小学校学校教育目標は、

たしかな学び(知)      あたたかい心(徳)      すこやかな体(体)

ゆたかなかわり合い(コミュニケーション)

といたします。

「たしかな学び」は知育にあたり、本校の児童が知性を磨くために、学びを深める機会や学習のあり方などを児童自身が選択しながら自己決定できる授業を展開し、児童の学力の向上を目指します。

「あたたかい心」は徳育にあたり、本校の児童がどんな場面でも人に優しくできるように、基本的な生活習慣の定着や自発的なあいさつをできるための支援に取り組み、安全教育や特別の教科道徳の実践を通して、児童の豊かな心の育成を目指します。

「すこやかな体」は体育にあたり、本校の児童ががんばりぬく心と健康な体を育成できるように、普段の体育の授業や運動会等の行事の機会を積極的に活用し、健康に関する理解の定着を図り、児童の体力の向上を目指します。

「ゆたかなかわり合い」はコミュニケーションを指し、本校の児童がいつの時代やどんな環境においても生き抜いていけるよう、異年齢集団での活動や学校行事等を通して自己肯定感の向上を目指します。

私たち土合小学校の職員は、児童一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう全力で安全な学校づくりに取り組みます。また、児童や保護者・関係者の皆様から厚い信頼を得られるよう、全力で指導・支援に取り組みます。保護者・地域・関係機関等の皆様には、今までと変わらぬご理解、ご支援ご協力をお願い申し上げます。新年度のごあいさつといたします。